

模擬法廷教室で自分の意見を発表する
子どもたち＝日進市の愛知学院大で



「白雪姫」題材に模擬裁判

児童ら参加「ロースクール」愛知学院大

小学生と保護者が模擬裁判を体験する「にっしんおやこでロースクール」が3日、日進市の愛知学院大であり、約20人が参加した。

法や法律の存在を知り、リーガルマインド（法的なものの考え方）を習得してもらおうと、同大が毎年開いている。童話の「白雪姫」が題材で、姫の美しさに嫉妬する王妃に「白雪姫に毒リンゴを食べさせ殺そうとした」との疑いがかけられている設定。参加者は子ども同士と大人同士の計5グループに分かれ、王妃や白雪姫、狩人などの証言を参考に有罪か無罪かを考えた。

「毒リンゴから王妃の指紋は出ていない」「王妃は半年前、狩人に姫を殺せと命じていた」など、判断の根拠となる要素を各グループで話し合い、意見をまとめた。最後は模擬法廷教室で結論を発表した。同市梨の木小4年の山村悠人さん(10)は「決定的な証拠がなかったので、有罪か無罪か決めるのは難しかった」と話した。同大の田中淳子副学長は「大人と子どもが対等に議論することができた。家族で法律の話

題を気軽にするきっかけになれば」と期待した。

(伊藤ちさと)